



2017-2018年度 主題

国際会長 : Henry Grindheim "Let us walk in the Light-together
「ともに、光の中を歩もう」
アジア会長 : Tung Ming Hsiao "Respect Y's Movement"
「ワイズ運動を尊重しよう」
東日本区理事 : 栗本 治郎 「広げよう ワイズの仲間」
湘南・沖縄部長 : 金子 功 「Y'sの絆を強め、広げよう」
クラブ会長 : 今城 宏子 「笑顔で奉仕、奉仕で笑顔」
～仲良く、楽しく、無理をせず～



今月の聖句

死者の中から復活するときには、
めとることも嫁ぐこともなく、
天使のようになるのだ。

マルコ12・25

(信徒の友「みことばにきく」より)

《巻頭メッセージ》

感謝と共に～2017-2018年度会長を終えるにあたって～

今城 宏子

昨年の7月、スタート時には嵐の中での船出といった厳しい思いでした。クラブ始まって以来の困難な時と受け止めました。私のような頼りない会長で一年が務まるのだろうかという不安でいっぱいでした。しかしながら岡田勝美副会長、鈴木 茂会計、今城高之書記という超強力役員の方々をはじめ各担当をしっかりとこなしておられるクラブメンバーお一人お一人の素晴らしいお力により無事に一年を終えようとしています。リーダーが弱く小さな者であったからこそ皆の結束が固く力強くなったような気がします。(ちょっと勝手な解釈?!)

実は出だしこそ厳しく感じましたが、一年を通してのクラブ生活は楽しいことが満載でした。8月はYOU & I コンサートのキックオフ運営委員会を兼ねての夕食会、メンバー其々料理自慢の腕をふるいました。9月には湘南・沖縄部部会や幼児サッカーワイズ杯への協力、10月は盛沢山の行事に目が回りそうでしたが「YOU & I コンサート」は運営委員会の皆様に加え、多くのYMCAからの助っ人にも恵まれ(生井さんに感謝!)見事に大成功。湘南・沖縄部の他クラブのご協力にも毎年の

ことながら本当に感謝です。山元町訪問に続いてチャリティーランでの受付奉仕などYMCAサービスも無事に行うことが出来ました。

10月本例会は恒例の移動例会として小田原から芦ノ湖遊覧を経て東山荘訪問。堀口所長から歴史や活動について詳しくお話しを伺い感動、美しい夕日を見た後に豪華なディナーを頂きゲストを交えた一同、大満足の日を過ごしました。11月はゲストながら毎回出席の高松氏の卓話! 12月には事務例会をクラブクリス持ち寄り愛餐会とし、本例会は戸塚YMCAのクリスマス礼拝に出席、祝会では日頃お交わりの少ない若い方々とも懇親の時を持ちました。

1月にはY-Y's合同新年会に出席、よき交わりの時を持ちました。また、クラブ総会にて次年度の役員が無事、選出されました。2月には事務例会においてFFを覚え豚汁とおにぎりの食事、同時にピンクシャツデーを覚えて全員ピンクを身にまとい写真撮影をしました。本例会は恒例の北YMCAとの懇親会。菊名の「敦煌」にて大勢の若きリーダー達との会食を楽しみました。(P7下へ)



2018年6月本例会

日時: 6月22日【金】

18:30～

場所: かけはし都筑

司会: 今城宏子 受付: 三木直子

《プログラム》

1)開会点鐘 会長

2)ワイズソング・信条 一同

3)今月の聖句と祈禱 鈴木茂

4)ゲスト・ビジター紹介 司会

5)会長挨拶

6)卓話 澤内 隆さん

演題: 地域で楽しく

地理を解説する

7)次年度の方針について

岡田副会長

8)Happy Birthday

10日 横田孝久さん

9)閉会点鐘 会長

10) 懇親会
センター南駅前「ガブリエル」にて懇親会を行います。奮ってご参加ください。



《5月のデータ》

例会出席	14名	在籍会員数	17名	各種記録	前月	累計	
メンバー	12名	月間出席数	12名	使用済切手	0g	0g	
ビジター	0名	メーキャップ	2名	プルタブ	0.6kg	0.6kg	
ゲスト	2名	月間出席率	82%	スマイル	0円	73,512円	

《例会報告》

クラブ恒例 富士山例会

岡田 美和 記

日時:5月25日(金)～26日(土)

場所:横浜Y M C A 富士山G E V

出席者:(メンバー) 今城T・H、岡崎、岡田K・M
久保、鈴木K・S、辻T s、三木、山中、
横田 (12名)
(ゲスト) 斎藤 勲さん、杉本千津子さん

司会:岡田K 受付(報告) 岡田M

0. 4台の車に分乗し、東名→第二東名を走り、一部は駿河湾SAで昼食(サクラエビのかき揚げうどん等)、一部は、食材の確保にさの萬さんに立ち寄り、全員予定の時間に現地に着きました。

1. 本例会:6/25日13:30～15:00

新しく出来た研修棟に集まりました。大きな窓からは初夏の雄大な富士が見えます。

平和の鐘の開会点鐘で例会開始。

一同でワイズソング、信条を唱和し、今月の聖句(鈴木S) 会長挨拶に続いて卓話でした。



■卓話 山中奈子(横浜北Y M C A館長)

「日本Y M C Aスタッフ研修ステップII 報告」

- ◇日本各地のY M C Aより10名の職員が参加した3カ月の研修でした。韓国へも一週間行きました。
- ◇右手に聖書、左手にパソコン、足元に新聞という研修(笑い)
- ◇Y M C A運動の担い手となる(人間関係トレーニング 現代社会とキリスト教等)
- ◇組織 管理 運営マネジメント。社会的責任の担い手としての働き。
- ◇児童発達支援事業への取り組みについて研修をしました。発達障がい児・者へのプログラムの歴史など。(神戸Y M C A肢体不自由児キャンプ) 現在は支援の必要な者が増えており、会社組織で事業として行っている例もあります。

◇Y M C Aのミッションとしては「ともに生きる・ともに歩む・ともに育つ」です。

◇プログラムクラス名も「トライアングルクラス」を「ライフスキルトレーニングクラス」にする、また保護者が参画できるプログラムにするなどを行っています。

◇韓国でのフィールドトリップ

2・8独立宣言とY M C A (歴史・現況)

◇この卓話により山中ワイズのこれからのY M C Aの担い手としての意欲が伝わってきました。

■5月のハッピーバースデイ

鈴木S・岡崎ワイズ

●鈴木Sワイズより一

言! 先日亡くなった西城秀樹の歌「Young Man」は若者はなんでもできる的な意味があり、元気をもらえる歌です。しかし原曲はビレッジピープル(同性愛)が歌っているものです。「Y・M・C・A」は海外ではゲイの意味があり、その差別をなくそうという運動でした。詳しくはY M C AのHPを見てください。



2. B B Q 17:00～20:00

富士山例会の山場は何といってもBBQ。手慣れたもので、手際よく準備が出来ました。テーブルには白のクロス(実はシート)が敷かれ、ワイングラスなどが綺麗にセッティングされました。(フロアマスターの横田さんに感謝) フリータイムに散歩を兼ねて、キャンプ場の端っこまでタケノコ(淡竹)を採りに藪に入りました。



収穫はB B Qで焼いて楽しみました。また笹で串を作り焼きマシュマロを食べました。テーブルを囲み、食べたり飲んだり話も弾みました。その中で嬉しかったことはゲストの二人がワイズクラブへの入会に関心を示したこと。(次頁へ)

(前頁より) 今後大切に見守りたいものです。

3. 懇親会 20:00～(メインホール)
恒例のギター演奏のカントリーまつり、うたごえ広場で



す。みんなで歌ったり、飲んだり、踊ったり、大盛り上がり。ぐっすり眠っていた2人が目覚めて立ち上がり、楽しく歌い出したのには皆大笑いしました。決して若くない仲間がこうして集い楽しめるのが我がクラブの素晴らしいところですよ。

4. 早天黙想会 26日(土) 7:30～7:45
朝の富士山を仰ぎ、



大きな切り株に座って行われました。讃美歌を歌い、聖書朗読、祈祷、主の祈り、黙禱。

朝食後4台の車に分かれ、ハマナスの花も咲いた富士山GEVを後にしました。(同日午後の横浜YMCA会員総会出席のため早立ちとなりました) この富士山例会では、自然の中でいろいろなことを感じながら楽しく充電でき、これからのエネルギーとなりました。(岡田美和 記)



すがすがしい空気を満喫しての早天黙想会



下左：懇親会も佳境に入って…
下右：帰路につく前の全体写真



《6月度事務例会》

日時 6月12日(火) 16:00～
場所 田園都筑教会

- 1)富士山例会の決算を行った結果、2万円弱をクラブ会計から補填する必要が生じ、了承された。
- 2)5/26の横浜YMCA総会で、常議員改選期に当たり、相賀功労会員が再任、今城Tが新任された。鈴木Tは継続。
- 3)東日本区大会は盛況裡に開催され、当クラブから6名が参加した。詳細は別途報告する。
- 4)本年9月に実施するYou & I コンサートへの都筑区社協支援金3万円が確定し近日振り込まれる。
- 5)都筑区社協の「善意銀行」の支援金申請締め切りが近づいており、今年度も申請することとした。「すぱーん」の調理ボラ関係の支出に充当する予定。
- 6)6月の行事予定を確認；
6/12(当日)クラブ事務例会
6/16 湘南・沖縄部評議会
6/22 クラブ本例会
- 7)CS事業予定の確認
・うたごえ広場
12：北YMCA
15：藤沢YMCA
20：生麦CP
- 8)その他
今年度最後の事務例会を終え、参加者より、今城宏子会長にねぎらいの言葉が述べられて散会。

- ・ すぱーん調理ボラ
25：辻Ts/今城T
- ・ その他
12：Cocoの集い
16：災ボラ
20：Poppy
27：TKBお仕事会

※場所を変え、最寄りの『一心』にて会食懇親会を行う。
次回22日の本例会では、厚木クラブメンバーの澤内隆さんの卓話があります。奮ってご出席下さい！

(今城T 記)

《報告》 去る6月2-3日両日に開催された、2017-18年度東日本区大会（第21回）出席者よりの報告を掲載します。なお、同大会へは当クラブより、今城会長、鈴木茂さん、辻剛さん、岡田勝美・美和さん、久保勝昭さんの計6名が出席しました。

2017～2018年度東日本区大会 @ブラザ ヴェルデ

第21回東日本区大会は2018年6月2日（土）・3日（日）ふじのくに千本松フォーラム「ブラサヴェルデ」に於いて開催されました。

前日には東日本区理事杯コンペが沼津クラブに於いて開催され当クラブからは久保勝昭ワイズが参加。

16：30からの役員会には当クラブから監事の鈴木茂ワイズ、定款改訂委員長として辻 剛ワイズが出席されました。その後、前夜祭・ゴルフコンペ表彰式が開催されました。

6月2日（土）

<年次代議員会報告> 10：30～11：45

栗本治郎理事による開会点鐘に続きワイズソングを唱和。引き続き開会祈祷、開会挨拶がされ、定足数確認（75名中委任状を含む64名の出席）、成立宣言がされた。

議案審議・承認

第1号議案：2017-18年度東日本区年次報告および行政監査報告。

第2号議案：2017-18年度東日本区中間決算報告および会計監査報告。

第3号議案：東日本区定款一部修正の件。

第4号議案：第23回東日本区大会ホストクラブ（北海道十勝クラブ）の承認。

第5号議案：2018-19年度東日本区理事指名の件（次期理事として宮内友弥氏：東京武蔵野多摩、次々期知事として山田敏明氏：十勝）。

第6号議案：2018-19年度東日本区理事方針。

第7号議案：2018-19年度東日本区役員

第8号議案：2018-19年度東日本区予算案

第9号議案：郵便による臨時代議員会実施の件（議案1, 2に3を加える）

以上全ての議案が承認された。

代議員会には、今城宏子会長が出席。鈴木 茂区監事、辻 剛区定款改訂委員長が傍聴しました。

（以上 今城宏子記）

「富士山のように高く」のもと、登録総数は480名、内西日本区より48名が参加しました。湘南・沖縄部は36名でした。横浜つづきクラブからは6名（今城H、岡田

K・M、久保、鈴木S、辻 T s u）

前日（6/1）の東日本区理事杯ゴルフ大会では久保ワイズが優勝を逃したもののニアピン賞をゲットしました。

6/2（土）の午前中は年次代議員会など役員会がありました。

午後よりのオープニングセレモニーでは、沼津学園飛龍高等学校和太鼓部による「飛龍太鼓」の力強い演奏がありました。

続いて、バナーセレモニーには今城H会長が登壇しました。

（バナーセレモニー）



開会式に続いて来賓挨拶があり、就任したばかりの沼津市長の祝辞がありました。

メモリアルアワーでは、天に召されたワイズ仲間が次々と大画面に映し出されました。どなたも長年貢献された方々です。

休憩の後、東日本区アワーでは、区役員による報告に続いて部長報告（各部）がありました。各クラブの活動が画面に出され、横浜つづきクラブのYOU & I コンサートも映りました。

奈良傳賞授賞式では、持田二郎（東京クラブ 84歳）、倉石 昇（千葉クラブ 83歳）の2名が受賞されました。

東日本大震災支援報告が石巻広域クラブの清水弘一ワイズよりありました。

小休憩の後、岩崎恭子氏の記念講演「幸せはいつも自分でつかむ」がありました。岩崎恭子氏はバルセロナオリンピック金メダリスト、14歳のシンデレラ **（次頁へ）**



(前頁より) ガールとして有名となりました。無名の選手でしたが本番で驚異的な成長を見せ、当時のオリンピック記録を塗り替えるタイムで競泳史上最年少金メダリストに輝きました。沼津市出身の彼女の大会前と大会後のエピソードを自然体で話されました。楽しい話でした。

いよいよ晩餐会です。500名近くが一堂に各テーブルに揃いました。挨拶の後、「アーバン・クロス」によるジャズ演奏で会食が始まりました。豪快な鏡開きがあり、生ビール樽を背にした男性を従えて、沼津クラブの相磯ワイズがサービスして回っていました。料理は沼津らしい海鮮、ローストビーフ、和食御膳、揚げたてのコロッケ、アジの唐揚げなどとても美味しかったです。

「部対抗出し物」ではそれぞれ趣向を凝らしていました。素晴らしい声に身を乗り出してみると、なんとテーブルに合わせたの口パクだったりして。湘南・沖縄部は [St. Paul will shine tonight] の替え歌 "Y's Men will shine tonight" を厚木クラブ小松ワイズのトランペットに合わせて歌いました。拍手喝采でした。楽しい懇親会をもてました。(以上 岡田勝美記)

6月3日(日)

2日目は、8:40から聖日礼拝を守り、日本基督教団沼津教会 宮本義弘牧師から、ヘブライ人への手紙11章1~3節に基づき、「見えないもの」と題する説教がありました。余命数か月と診断されて入院中のご友人のエピソードを加えて、人間が見えない方・神によって導かれ、救われていることに気づいてほしいと訴えておられました。

9:15から東日本区アワー②として、各事業主任からの活動報告と表彰発表がありました。献金表彰では、つづきクラブは全ての献金項目で基準値を超え、優秀クラブとして発表スクリーンに掲示されましたが、1位となった項目はなく、従って今城宏子会長が壇上に上がって理事から直

接表彰を受けるシーンはありませんでした。

続いて10:45から理事・役員引継ぎが執り行われ、青木一芳・元国際会長の司式のもと、栗本治郎理事(熱海クラブ)から宮内友弥次期理事(東京武蔵野多摩クラブ)への引継ぎが進められました。新理事所信表明で宮内次期理事は、理事主題として「為せば成る」を掲げ、基本方針として(1)各メンバーがサーバントリーダーとして、自ら動き奉仕する組織を目指すこと、(2)キリストの愛の精神とYMCAサービスをワイズの拠り所(アイデンティティ)とすること、



(新旧理事引継ぎ)

(3) 変わることをないワイズの理念を堅持する一方、絶えず新しい課題に取り組む改革に挑戦することを強調されました。その上で1.組織の在り方再検討(法人化問題等)、2.Extension、3.YMCAとの関係強化、4.国際・エリアへの関与、5.外部への広報活動、6.東日本区定款改定の仕上げと対応の6項目に取り組むべき重点課題として掲げられました。

次いで、栗本理事の挨拶と新・旧役員の紹介が行われ、閉会式となりました。閉会后、「海の幸コース」と「山の幸コース」の二つのエクスカッションが用意されていましたが、私は「海の幸コース」に参加し、沼津魚市場の寿司店で近海魚の美味しいお寿司を堪能したほか、「沼津深海水族館」と「沼津御用邸記念公園」を訪問、観光しました。

(以上 鈴木茂記)

<トピックス>

第81回YMVA-Y's協議会開催

去る6月5日(火)、横浜YMCAにおいて、81回目のY-Y's協議会が開催され、双方近況を報告するとともに、様々な協働テーマにつき意見を交わしました。評議会は年間平均4回開催されるため、かれこれ20年以上続いていることになる。

礼拝の後、横浜Yの田口総理事、ワイズ湘南沖縄部金子部長の挨拶があつ



たが、その中でも両者の緊密な協力関係についての言及があった。今回話題に上った主な項目は
①チャリティーランの運営について
②第25回AIDS文化フォーラムin Yokohamaの協力について
③エクステンション委員会の活動と今後の進め方について

と云ったところで、何れの項目も双方の活動に大いに関係するものである。残念ながら、神奈川県下のワイズメンズクラブ全部の参加は得られなかったが、今後とも絶やすことなく継続すべき協力関係であろう。当クラブからは、今城H会長、今城T書記、鈴木S会計(部監事)、

辻Ts部エクステンション委員が参加。次回は、次年度の9月4日に予定されている。(今城T記)

北YMCA便り

北YMCA館長 山中 奈子（つづきクラブ）



三浦YMCAグローバルエコビレッジが2018年4月から横浜YMCAの運営となりました。ヒルサイド（旧やまびこ棟）は耐震補強もされ、きれいな宿舎となりました。新しいベッド等もこれから運び込まれます。課題はたくさんありますが、これからのがとても楽しい施設です。

その三浦YMCAにおいて5月27日（日）「SCジョンソン・横浜YMCA発達障がいの子どものいる家族のためのイベント カヤック体験をしよう！」が行われました。

毎年行われているイベントで、カヤック・磯遊び・マリンパークを楽しみます。今年は生後3か月の赤ちゃんからおじいちゃんまで48名の参加者と8人のスタッフ・リーダーが参加しました。

このイベントは、なぜか毎年晴れる！というジンクスのあるプログラムです。今年もきれいな青空が広がり、絶好の海日和でした。今年の参加者は幼児さんも全く海を怖がることなく、たくさん遊んでいました。クラゲやアメフラシ、カニやヤドカリなどはじめて見た子どもたちもいました。午後はマリンパークでまったりと…保護者と子どもたちがバラバラになって園内を楽しみました。経験値が少なくなりがちの発達障がいの子もたちにとって、とても大きな経験になったことは間違えないと思います。

7月予定

7月2日（月）～6日（金） 安全週間
7月8日（日） ジュニア&マスターズスイミングフェスティバル
7月23日（月） 夏季プログラム開始
7月29日（日） 臨床作業療法大会



《特別寄稿》横浜ワイズメンズクラブ主催の「一泊研修会」に参加した当クラブ辻 剛ワイズの報告です。

「〇〇クラブの今後の在り方を考える」

〈はじめに〉私は、5月18日、19日に横浜クラブ主催の一泊研修会に参加させていただきました。場所は、「横浜市の公共の宿」と呼ばれる「上郷・森の家」です。横浜市内にこんな素晴らしい鬱蒼とした森や樹木に囲まれた自然があるのかと思うような場所で、ものを考えたり議論するには最適な空間です。出席者は横浜クラブから舟田会長以下8名、ゲストは今回で9回目の参加になる加藤利榮さん（横浜とつか）と2011年以来2回目の参加になる私で合計10名でした。

〈プログラム内容〉今回の研修テーマは、「横浜クラブの今後の在り方を考える」でしたが、内容は現在のすべてのワイズメンズクラブが直面している問題でもありと考え、いろいろ学ばせていただくよう参加しました。

第1日目のテーマは、「財政面からクラブの課題とその対策を考える」、第2日目のテーマは「横浜クラブのあらまほしき姿とは」でした。発題者はいずれも古田次期会長。

第1日目の議論で出てきた主なキーワードは概ね以下のとおり：会員数の減少→単年度予算の赤字化（蓄えはかなりあり）→対策は？→会員増強、サービスの見直し、ク

ラブ運営の見直し、諸献金・支援・会費・食事・卓話・プリテン・ロバ・等々の見直し。

第2日目のキーワードは、「青少年のためにYMCAに尽くそう」、「歴史と伝統のある横浜ワイズメンズクラブらしさを意識する」、「卓話を重要視する」、「YMCAをととしての社会貢献」、「会員増強」、「地域社会とのさらなる結びつき」、「オリンピックへの貢献」、等々。

これらのキーワードは私たちのクラブにとっても考えさせられることばかりで、いずれじっくり見直してみるべきだと思いました。

加藤さんと私からは「ワイズの法人化」の必要性についてコメントさせていただきました。

〈感想〉参加者全員がそれぞれの意見をペーパーにキチンとまとめてきて発表し、真面目に議論しているのを拝見して皆さんの危機感とやる気を感じました。

また、ある出席者から、「先輩達は良い意味での先輩クラブらしさを念頭に当クラブの運営をしてきた面があるように思う。これはだれでもなれることではないので、大切にしたいと思う。」との発言があった。ここには伝統と長い歴史のあるクラブのメンバーとしての確固とした自負があり、（次頁へ）

《特別寄稿》 当クラブの鈴木 茂ワイズは、去る5月23日、同じく湘南・沖縄部の厚木クラブの例会で卓話をされました。当日の演題は、YMCA史学会の理事を務められる鈴木さんらしい「外から覗いたYMCA」という演題でした。以下が卓話の概要です。

日時：2018年5月23日（水）18:30～20:30
 会場：厚木YMCA 出席者：18名

さる5月23日（水）、厚木クラブからのご依頼を受けて卓話に行ってきました。錚々たるワイズメンの皆さまの前でお話できるような経験も学識も持ち合わせていないと一旦はお断りしたのですが、テーマは自由に選んでよいという条件でしたので、おこがましくも「外から覗いたYMCA」とさせていただきます。このテーマを選んだ理由は、私自身がこの10年近く、横浜YMCA常議員としてまた「YMCA史学会」理事として、YMCAについて学び直すことを強いられてきましたので、その一端を披露させていただきます。

かつて、日本の都市YMCAは「キャンプのYMCA」、「プールのYMCA」、「英語のYMCA」などと、人によって多少のニュアンスの差はありましたが、ある程度のイメージが定着していました。近年はYMCAの事業内容が極めて多様化している上に、かつてはYMCAのシンボルとも言えたプール（水泳）や英語学校も、現在は他企業に王座を奪われている事情等も加わり、YMCAの姿は非常に見え難くなっています。日本のYMCAが過去数年間、「日本YMCA同盟」を中心にブランド再構築プロジェクトに取り組み、昨年10月から新ブランド・コンセプトと新ブランド・ロゴを導入した背景には、こうしたMCAの見え難さがありました。

以上のような問題意識のもとに、私の卓話のパワーポイント

ト原稿は以下のサブタイトルでまとめることにいたしました。

- YMCAはどんな活動をしているか。
- YMCAの目的。
- 横浜YMCAの事業内容。
- YMCAの誕生と成長。
- YMCAの貢献。
- 日本のYMCAの現状。
- 横浜YMCAの組織。
- 横浜YMCAの会員組織。
- 横浜YMCAのユニークな活動。
- YMCAのエキュメニズム。
- YMCAの正章。
- YMCAのブランド・ロゴ。
- YWCA、ボーイスカウト、ガールスカウト。
- ワイズメンズクラブの歩み。
- パヤオセンターの子どもたち。

例会出席の皆さんからは、“今までほとんど知らなかったことばかり！”とのご感想をいただきましたが、このような内容の卓話に、はたしてご関心とご興味を持っていただいかどうかは分かりません。ただ、YMCAサービスを主要目的の一つに掲げるワイズメンズクラブにあっては、YMCAについて学ぶことはワイズメンにとって意義のあることであると思われます。

以上

（P6下段より） さすが90年近くも続いているクラブのメンバーはどこか違うなと感心した次第。

夕食後は、畳の寝室に集まり車座になりながら「久保田千寿」を飲みながら昼間の延長のような議論になり、かたい話を中心でやや真面目過ぎの感あり。何となく違和感があったのは女性メンバーが一人もいないことに気がついたとき。これも伝統のなせる業か。（失礼！）この地球上の人類の半分は女性ですぞ。

なにとはともあれ大変良い勉強になり、参加させていただいたことに感謝申し上げます。横浜クラブの益々のご発展をお祈りしつつ報告を終わります。（辻 剛）



（巻頭メッセージより） 3月は元EU代表部、セネガル大使などを歴任の伊藤氏にEUについての卓話をして頂き、少し視野が広がったのではないかと思います。

4月は我々が久保勝昭ワイズによるカントリーミュージックのレクチャーとライブで多いに盛り上がりました。そして5月は富士山例会！！ゲストも交え14名の参加。我々が北YMCA山中館長による卓話を頂き、恒例のBBQ大会（淡竹に舌鼓！）、そして歌声広場懇親会。2日間にわたり富士山が全景を表してくれました！ゲストの方々が新入会の候補となって下さる期待も出てきました。いよいよ6月を迎え新しい出発へと向かいます。皆様を支えられての一年間、本当にありがとうございました！心からの感謝と共にメッセージを締めさせていただきます。



昨年10月の移動例会、東山荘にて

《期末特別寄稿》我々の活動の原点はYMCAを支えることであるということを変更して認識する意味も込め、本期末号には、横浜YMCAの2018年度活動方針を、当クラブメンバーで横浜YMCA主事の山添訓にまとめて頂きました。

横浜YMCA2018年度の方針計画について、記載させていただきました。ブランディングが4月より本格的にスタートし、改めて地域、社会にYMCAの活動を発信して、多くのYMCAファンを集めることができればと思います。全国のYMCAに関わる方々と共に推進していく1年になります。また、職員については、働き方改革を進め、働きやすい環境を整えていくことを進めて行きます。

2018年度基本聖句

隣人を自分のように愛しなさい。
(マタイによる福音書22章39節)

横浜YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神に基づき、いつの時代も社会の求める課題に向き合い平和を求める働きを続けてきました。

今私たちは、これまでに経験したことの少ない少子高齢社会とともに人口減少社会へと歩んでいこうとしています。その中で、子どもや高齢者、障がい者、外国につながる人びとなど、社会的に弱い立場にある人びとの人権が軽んじられるような出来事が少なくありません。また、地球環境の変化などによる自然災害も後を絶ちません。世界の各地でも、テロや内戦により住み慣れた地域を追われ、多くの難民が生まれる事態が続き、近隣諸国とも互いに挑発し合うような平和を脅かす出来事が発生するなど、依然解決のめどのない課題が多くあります。

横浜YMCAは、全国のYMCAとともに、将来のYMCAの方向性を示したブランドスローガン「みつかる。つながる。よくなっていく。」を策定しました。YMCAの活動を通して、一人ひとりの「よくなる」ことが、関わる人の喜び

となり、つながりを深め、他人事を自分事に変える力となって、出会った人びとを喜びで満たしていく。その「よくなる」連鎖が、社会や世界を変えていく力となり、平和を形にしていく原動力となっていきます。

創立134年目を迎える横浜YMCAは、互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、善意や前向きな気持ちによってつながる「ポジティブネット」を通して、誰もが公平に将来の夢や希望を描ける社会を目指していきます。

I. 「横浜YMCA—私たちの使命」を日々の働きの中で具体的に実践していくことを通し、「ポジティブネット」のある豊かな社会の実現に努める。

◇YMCA運動を推進する維持会員増強の日常化を進め、YMCAそして地域コミュニティーを支える会員が増えるよう、メンバーシップ・バイ・デザインにより、多くの会員やユース世代によるボランティア活動への参画の機会を増やす取り組みを進める。

◇すべてのいのちを守り、育み、輝かせることができるよう、隣人に仕える人を育む「YMCAキャラクター・ディベロプメント」運動の取り組みを推進する。

◇地域諸団体と連携・協働し、地域・アジア・世界の平和への働きを積極的に展開する。

また、地球市民としての交流、学び、そして平和を創り出す人を育成する取り組みを進める。

◇互いを認め合い、心をひらき、わかち合い、すべての人に開か

れたYMCAとして、人と人がつながる豊かな福祉社会及び多文化共生社会の創造に努める。特に社会的に弱い立場の人びとや孤立している人びとに寄り添う活動を諸団体と連携して取り組む。

◇東日本大震災や熊本地震、豪雨水害をはじめとする被災された地域、人びとを忘れることなく、共に支え合う支援活動に取り組む。また、今後予想される大規模災害への対応と地域における災害時の備えにつながる取り組みを進める。

II. YMCA各事業の専門性とネットワークを生かした事業協働を推進し、さまざまな社会課題に応じて、新たな価値を見出す事業活動に発展させ、「ポジティブネット」のある豊かな社会の実現に努める。

◇すべての人の健やかな成長を願い、野外活動をはじめとして「共に生きる」という体験を提供するために、個を生かすグループワークをすべての事業に取り入れるよう努める。

◇誰もが安心して子育てができるように、これまでの事業の枠を超えて新たな協働を推進することで、子どもの成長に応じた総合的な支援によって子育て、子育てを共に支える社会を目指す。

◇多文化共生社会の中であって、地球市民を育む語学教育や日本語学科の事業展開に力を注ぎ、外国につながる人びとや日本への留学希望者の受け皿を広げるとともに、YMCA会員や地域の方々との交わりの機会を増やし、多様な文化を (次頁へ)

(前頁より) 共に認め合い、学び合う環境づくりを整える。

◇高齢者の増加と介護の担い手世代の減少により、ますます高まる介護予防へのニーズや、団塊の世代以降の新しいシニア世代のライフスタイルに対応したプログラムの充実を事業協働により図っていく。

◇子ども一人ひとりの発達特性や生活の課題を理解し、個々にあった支援の充実が図れるよう児童発達支援事業や放課後等デイサービスをさらに展開するとともに、生活に困窮する家庭の子どもたちが希望ある豊かな未来を描き、歩めるよう学習や子ども食堂などの支援の充実を図る。

Ⅲ. 横浜YMCAのすべての館と施設が地域の人びとや団体とのつながりを強め、地域に必要とされる地域活動を展開し、「ポジティブネット」のある豊かな社会の実現

に努める。

◇VISION 2020の達成に向けて、新地域活動計画のもとに、新たな地域の課題やニーズに向き合い、地域の人びとや諸団体、行政等と連携・協働しながら地域活動を更に推進する。

◇新たにスタートをする川崎 YMCAは、これまで培ってきた地域や行政との連携をさらに強め子育て支援や介護予防などに積極的に取り組むとともに、留学生中心の新たな専門学校が地域の拠点となり、地域の一員として、その役割と責任を担えるようにする。

◇横浜YMCA野外教育施設として新たな展開となる三浦ふれあいの村は、「三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ」として富士山YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジとともに、YMCAキャンプ・野外活動事業

を通じて多様な自然体験を提供し、人財の育成を図る。

◇障がい者が社会参画できる機会をより多く創出していくとともに、就労に必要な知識と技術の習得を得られる就労支援事業の充実を目指し、とつか地域での新ワークサポートセンターの開設を推進する。

◇新たな社会ニーズに対応するとともに、安全でかつ環境・省エネに配慮した施設の整備と設備の更新等のリニューアル工事を保育園施設ならびに各YMCA会館において計画的に推進する。

◇地域の人びとの健康づくりの推進とともに、推進するスタッフの健康的な職場としての満足度の向上をねらいとして、働き方改革の推進に取り組む。そのために人事制度、研修制度を見直し、ワークライフバランスや健康経営を推進する。

山添訓

25回目のAIDS文化フォーラム in Yokohama が開催されます。テーマは、前回の「リアルとであう」に続いて「#リアルとつながる」です。この文化フォーラムでは、様々な立場の、様々な意見が尊重されます。皆さんも、そんな様々な「リアル」につながってみませんか。

期間中、1日単位で参加できるボランティアを募集しています。



ボランティアの申し込みはこちら

<http://abf-yokohama.org/>

・ ・ ・ 編集後記 ・ ・ ・

▼極めて多忙な、盛り沢山の1ヶ月でありました。ワイズ年度最後のということもあり、様々な会議や大会、クラブ行事などが目白押し、それらを何とかこなし、後は、期末のクラブ例会で今期は終わります。会長始め、クラブ役員、部や区の役員を務められた各位には、「お疲れ様」と申し上げます。▼そうこう言っているうちにも新年度が始まり、また同じような日々の繰り返しになるのでしょうか。▼今期は、これまで経験したことのない、大幅な会員減に始まりました。期内に元のレベルを回復するのは困難ですが、次年度は、メンバー全員の努力で何とか以前のレベルにまで回復したいものです。メンバー各位の奮闘努力を期待して、今年度最後の編集後記とします。

(編集子)

**写真で綴る
つづきの一年**

▶ (7/28) 本例会。
部長公式訪問があり新役員就任式

▶ (10/27) 秋の移動例
会は、小田原を経て東山
荘訪問。堀田所長のお話
に感激。

▶ (1/3) 非公式ながら恒
例行事例化しつつある箱
根駅伝観戦会。久保ワイ
ズにお世話になる。

▶ (9/16) 横浜クラブ
と一緒に幼児サッカー
大会のお手伝い。

▶ (2/13) クラブ事務例
会で「ピンクシャッター」
のアピールを行う。

▶ (9/22) 厚木Cの佐
藤節子さん、石巻広域C
の日野会長を迎えての本
例会。

▶ (2/23) 2月の本例会
は、恒例の横浜北
YMCAスタッフとの交
流会。若者たちと大い
に語る。

▶ (10/14) 横浜YM
CAのチャリティーラン
参加。若者の熱気を分け
てもらう。

▶ (4/27) 4月の本例会
は、久保ワイズの卓話と
音楽で大盛り上がり。

▶ (10/7) 第7回You&
Iコンサート開会前。ボラン
ティアの仲間達と。

▶ (10/19) 宮城県山元町
のみやま荘とつばめの杜保
育所訪問。



2018/5/25 富士山例会

